

日本福祉大学 健康社会研究センター主催 国際シンポジウム
社会疫学—J-AGES プロジェクトの可能性と課題

後援:平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業, H22-長寿-指定-008)

開催のご案内

「健康の社会的決定要因」を解明する疫学の一分野である社会疫学研究の日本における拠点形成を目指して、2009年に日本福祉大学健康社会研究センター(Center for Well-being and Society, CWS)が開設されました(文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業)。平成 22 年度から厚生労働科学研究費補助金の指定研究として「介護保険の総合的政策評価ベンチマークシステムの開発」(H22-長寿-指定-008)も始まりました。CWSでは、両者の研究資金を投入して高齢者 10 万人を対象に、9 大学と国立社会保障・人口問題研究所の研究者も参加する大規模社会疫学的調査プロジェクト J-AGES(Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究)を立ち上げました。

社会疫学の世界的第一人者であるハーバード大学公衆衛生大学院のKawachi 教授をお招きして、社会疫学と J-AGES プロジェクトの可能性と課題について探ります。

日 時 **2011 年 3 月 17 日(木) 10:00-14:30**
会 場 日本福祉大学名古屋キャンパス北館 8F

プログラム

特別講演

“Why behavior interventions often end in failure?”

Ichiro Kawachi (ハーバード大学公衆衛生大学院教授)

シンポジスト

- マルチレベル分析による死因別分析
市田行信 (株式会社 EBP / 日本福祉大学健康社会研究センター客員研究員)
- 相対的剥奪と死因別死亡
近藤尚己 (山梨大学 医学工学総合研究部 講師)
- Physical and mental health, social relationships, social capital, and happiness among Japanese older adults
今井 久 (山梨学院大学大学院 社会科学研究科 教授)
- 日本の高齢者の BMI と総死亡・死因との関連: AGES コホート
中出美代 (東海学園大学 人間健康学部 准教授)
- 地域在住高齢者のスポーツ組織への参加が要介護状態発生に及ぼす影響
金森 悟 (順天堂大学 医療看護学部 助教)

<お問合せ先>

日本福祉大学健康社会研究センター(担当:泉)
460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35
TEL:052-242-3074 / FAX:052-242-3076